

水の流れ 風の香り 緑の大地につつまれた うるおいの郷

広報 しょうわ

“新年に希望を込めて”

12月17日 しめ飾り作り教室



2016

1

No.560



昭和村長 馬場孝允

平成28年
年頭の挨拶

新年あけましておめでと
うございます。村民の皆様
には明るく希望に満ちた新
春をお迎えのこととお喜び
申し上げます。

また、日頃から、村政に
お寄せ頂いております御支
援と御協力に對しまして、
厚く御礼申し上げます。

昨年は、年初から例年に
ない大雪に見舞われ、春の
雪解けを待ち焦がれる日々
が続きました。松山や下
中津川の福寿草、大芦の力
タクリ、小野川の水芭蕉、
野尻の菜の花など、各地区
において、春の訪れの喜び
もひとしおでありました。

四月からは、県を挙げた大
型観光企画「ふくしまデス
ティネーションキャンペーン」
が行われ、東日本大震
災・原発事故による観光客
の落ち込みを取り戻そう
と、県内各地で様々なイベ
ントが行われました。村に
おいても、道の駅への入込
数がキャンペーン期間内に
前年比一・七倍と、多くの
観光客をお迎えいたしました。
七月のからむし織の里
フェアや、十月の秋味まつ
りにも例年以上の来場者が
あり、紅葉の時期には、新
たに駐車場・トイレを整備

した矢ノ原湿原や旧喰丸小
学校のイチヨウを目当てに
写真愛好家や観光客が連日
訪れるなど、多くの皆様に
心を寄せていただいております。
また、姉妹都市である
草加市からは、季節ごと
のバスツアーや小学校の自
然体験など、長年にわたり
密接な交流が続いております。
三十周年の節目を迎えまし
た。友好交流推進宣言に草
加市長と共に調印し、今後
ますますの交流推進をお誓
い申し上げます。

また、本村が全国的な産
地になっていく宿根カスミ
ソウは、昨年から生産者団
体がJAに一本化され、全
国二十八の市場に出荷され
るなど、流通面でも基盤が
強化されました。七月には
NHKの朝の番組で奈良布
地区から生中継があったほ
か、多くのテレビ番組で本
村のカスミソウが紹介され
、夏秋期日本一の産地を
大いにPRしていただきました。
さらに、生産者団体
の中心となつて産地をリ
ドしてこられた立川幸一さ
ん、洋子さん御夫妻が、福
島県農業賞の最高位である
農林水産大臣賞を受賞され
ました。村のカスミソウを
トップブランドに導いた経
営改善の積み重ねに改めて
敬意を表するとともに、村
からの受賞は、村民すべ

れ高いことであります。
本年は、こうした村の誇
りと魅力をもっと磨き、村
民に人々を呼び込み、また、村
民が生き生きと暮らせる村
づくりを進めるため、第五
次昭和村振興計画の後期計
画がスタートします。併せ
て、村の将来人口を二十五
年後の二〇四〇年に九百人
と展望する人口ビジョン
と、働く場を生み出し、人
の往来を増やし、子育て環
境を充実させ、昭和村らし
さを磨くという四つの柱で
人口減少対策を進める昭和
村総合戦略に基づく地方創
生の取り組みが展開されて
います。国道四百一号博士峠ト
ンネル化など国道道の整備
促進やカスミソウ栽培を始
めとした農業後継者の育
成、からむしの維持継承、
子育て環境の充実、地域支
え合い活動の拡充、空き家
対策等の居住環境整備、農
村体験等による滞在型観光
の推進など、様々な分野の
施策に総合的に取り組んで
いかなければなりません。
それぞれが大きな課題であ
りますが、村民の皆様と
ともに、一つ一つ全力で取
組んでまいりますので、ど
うか皆様には、今後とも変
わらぬ御支援、御協力をお
願い申し上げます。

結びに、皆様の御健康と
御多幸を祈念申し上げます。
また、新春の御挨拶といたし
ます。

昭和村議会議長

五十嵐 勝

明けましておめでと
うございます。

村民の皆さまにおかれま
しては、健康で、希望に満
ちた新春をお迎えのことと
心からお喜び申し上げます
とともに、日ごろより、村
政伸展のために多大なるご
理解とご協力を賜り、厚く
お礼申し上げます。

昨年7月の議長就任以
来、村民の皆さまの期待に
えられる議会を目指し、議
会運営に努めてまいりました。

新年を契機に、心を新たに
して、村民の皆さまが昭和村
を誇りとし、昭和村に住む喜
びをかみしめることのできる
ような魅力ある村づくりの実
現を目指して、一層精進して
まいります。

さて、国の内外ともに大
きな変革の時期に遭遇して
おります。地方行政におき
ましても、地方分権型社会
の到来を受けまして、自己
決定・自己責任による自治
体運営が求められるなど、
未だかつて経験したこと
のない新たな環境に日々直
面し、まさに、行政の真価が
問われている時代といつて
も過言ではありません。
わが昭和村におきまして
も、若年層の流出から高齢



化と過疎化が続き、村政の
発展を図るうえで大きな隘
路となつておりますが、こ
れを打開するためには、若
人にも十分魅力のある、活
力溢れた地域社会を実現す
ることが、何よりも肝要で
あると思います。

本年は「第五次昭和村振
興計画」の「後期計画」が
初年度となり、また、人口
の減少に歯止めをかけ、地
域の活性化に向けた「昭和
村総合戦略」及び「昭和村
人口ビジョン」を本格的に
推進させる大変重要な年
であります。

我々議会におきまして
も、今後も村政課題の解決
に向け、村民の皆さまの声
をお聴きし、議会の活性化
に引き続き取り組みなが
ら、皆さまの期待に応える
べく、誠心誠意尽くしてま
いる所存でございます。

結びに、平成28年が村民
の皆さまにとって、実り多
き年となりますことを心よ
り祈念いたしまして、新年
のご挨拶といたします。

皆様からのご厚意に感謝いたします

「からむし織の里昭和村応援寄付金（ふるさと納税）」について、今年も多くの方々から多額のご寄附を頂戴しましたので、ここにお知らせいたします。公開するのは、平成27年1月から平成27年12月17日までにご寄附をいただいた方で、お名前の公開に同意をされた方です。また、この他14名の方からご寄附をいただいております。

寄附金総額は、百三十一万二千円となりました。ありがとうございました。

氏名	住所
五十嵐 邦一様	埼玉県南埼玉郡宮代町
小林 正義様	福島県会津若松市
馬場 健作様	福島県いわき市
五十嵐 健様	大阪府高槻市
金澤 壮一様	福島県西白河郡矢吹町
福司 憲道様	宮城県仙台市
馬場 美行様	福島県いわき市
大槻 宏一様	福島県福島市
小久保 一夫様	千葉県松戸市
五十嵐 文二様	千葉県四街道市
三宅 博都様	千葉県茂原市
栗城 正治様	埼玉県川越市

優良河川愛護団体
感謝状贈呈

12月9日、役場村長室において優良河川愛護団体感謝状贈呈式が行われ、長年にわたり野尻川の親水公園等の環境美化活動を率先して取り組んできた昭和村下中津川地区河川道路愛護会に会津若松建設事務所長より感謝状が贈られました。

平成27年度
コミュニティ助成事業



本年度、コミュニティ助成事業（一般コミュニティ助成事業）を受け、佐倉地区に19基のLED式防犯灯を整備しました。



写真左より、島俊秀所長、酒井仁代表、村長

保育所クリスマス会

12月5日、昭和村保育所のクリスマス会が行われました。子どもたちはこの日のために練習してきた「フルフルフルーツ」のお遊戯や「北風と太陽」の劇などを披露し、保護者の方々からは大きな拍手がおくられました。

また、クリスマス用の帽子を工作したり、クリスマスプレゼントをもらい大喜びの日でした。



そば打ち講習会

10月3日、10月17日、10月31日、11月14日の全4回に渡り、公民館において昭和村人材育成事業「そば打ち講習会」が行われました。

講師は、村のそば打ち名人である栗城寛さん（松山）、舟木長一さん（下中津川）、酒井隆一さん（下中津川）の3名が交代で務めました。講習会には総勢12名が参加し、楽しみながらもレベルアップを図ることができました。



公民館日誌



11月9日
千歳学級「社会見学会（二本松）」

11月9日に千歳学級、秋の社会見学会で二本松市を訪れました。「幕末維新伝」をテーマとした、二本松の菊人形展では、色鮮やかな菊の花や色づく紅葉に埋め尽くされた菊の祭典を楽しみました。また、智恵子記念館の美しい紙絵の世界と造り酒屋であった智恵子の生家を見学し、大山忠作美術館では、各地から集められた「椿」の大変貴重な名作を、女優の一世采子さんに解説いただきながら鑑賞しました。



11月28日 生涯学習講座
「手打ちうどん教室」

11月28日に、公民館で「手打ちうどん教室」が開催されました。村内松山の「蕎麦工房 栗寛」の栗城寛さんが講師を務め、手打ちうどんづくりの全行程をご指導いただきました。力いっぱい捏ねた生地を足で踏み、のすに苦勞する程の弾力あるうどんが出来ました。試食では、講師手打ちの、こしのあるつややかなうどんを、温かいけんちん汁と冷たいつゆで、それぞれの味わいを楽しみながら、美味しくいただきました。



11月28日～12月8日
「元気で長生き教室」

11月28日から12月8日にかけて、村内6カ所で、元気で長生き教室が開催されました。午前中は、塩分を控えたバランス献立の調理実習を行い、少ない塩分量でも美味しく満足感のある調理のコツを学びました。午後は、公民館の出前講座で、季節の押し絵製作を行いました。小さなパーツを組み合わせる細かい作業にじっくり取り組み、これからの季節にぴったりの、クリスマスと申の干支の素敵な作品が出来ました。



12月12日
少年教室「クリスマス会」

12月12日に、会津自然の家でクリスマス会を行いました。クリスマスケーキづくりでは、生地を焼くところから飾り付け迄、全て手作りに挑戦しました。班で協力し合って手際良く作業し、先生から太鼓判いただく程、完成度の高いフッシュド/エルが完成しました。また、木工クラブでは、ノギリや小刀、グルーガンを器用に使って、森の動物づくりにも挑戦しました。可愛らしいフッシュド/エルを頼りながら、一足早いクリスマス気分を楽しみました。

昭和村文化財保護審議会委員
菅家 博昭（大岐）

二〇一五年の秋、ラグビー日本代表の五郎丸歩選手が有名になりました。五郎丸とは江戸時代後期から大正時代にかけて織られた布の名称として、奥会津地域一帯では知られています。南会津郡の『伊南村史』にはそうした文書類が掲載されています。

晒(かたやまさらし) 帷
子地(かたびらじ)」があ
り「豎ヨリタル麻、横ヨラ
ザル青苧(カラムシ)、織
リ成テ後、灰水ニ浸シ、他
水ニ晒シ、日光ニ乾カス
以上ノ如ク為ス事 三十日
後 板二巻キ木槌ヲ以テ打
ツ」といいます。ほかに「麻
細緞子(もじ) 蚊帳地」
があります。

麻布では最も高価なものであつたようです。

ここで麻とカラムシ（青苧）の交織布が話題となつていることは種類の異なる草の繊維を合わせることで、それまでに無かつた風合いの製品を織り出すことができることで、これは絹糸（蚕）、綿などでも行われていました。

大正三年の『南会津郡史』にも麻布の五郎丸等の事が記載されてることを『伊南村史第六巻』で河原田宗興さんは紹介しています。『郡

昭和村では古くからカタヤマ（たていとに麻、よこいとにカラムシ）は織られていますしそうした製品が現存しています。

います（『伊南村史第三巻』六六五ページ）。明治二年の若松県生産分局の写し資料では、「五郎丸 御上下（かみしも）地千疋 代三千両」とあります（『伊南村史第四巻』九五ページ）。

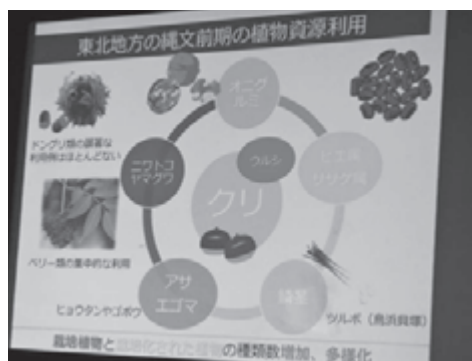
史』では布（反物）には五郎丸、著幅、縵子、蚊帳地、細美（さいみ）があるとしています。細美とは太さの同様なる細糸を粗に織りたるものにして畳の縁被に用ふ。著幅とは緯糸経糸ともに同様に撚りたるものにて

明治十四年の第二回内国勸業博覧会で「麻五郎丸」は褒賞を受けています。また明治十七年にも同じものが出品されたほか、明治十七年と二十年には「片山

織る。縵子・蚊帳地は緯糸太く経糸細きものを用ふ。そして五郎丸は、緯糸を撚り、経糸を撚らずして織り、最上級の五郎丸は経糸に苧麻(カラムシ)を用いて、

現在、村内佐倉のからむし工芸博物館では、企画展「文字に見るからむしと麻」に応用編が三月までの日程で開催されています。この数年間に村内の皆さんのご協力により公開されたアサやカラムシに関する文書・資料類が紹介されています。商品である原料の生産や加工、商品規格、販売・取引に関する資料が少しずつ明らかになっています。

一方、国内の纖維植物の研究では古く縄文時代からアサはエゴマ（ジュウネン）やマメ類と共に栽培されてきたことがわかっています。



物の分析にも応用できるようになり、また生産現場を持つ昭和村の研究対象としての価値が高くなります。まだ何も明らかになっていないカラムシやアサ生産の実態・歴史を含め、調査すべきことがたいへん多く残されています。

二〇一五年十一月末に山形県南陽市で縄文前期シンポジウムがあり私も聴講参加しました。植物の利用・栽培の研究は、分析化学の進展により特に日本植生史学会が『植生史研究』にその多くを発表しています。そして樹皮（樺類）の縄も多く出土しています。当地では樹皮はモワダ（シナ皮）が多く利用されてきました。こうした縄文時代等の植物分類学が進むと同時に、アサやカラムシの現存



保育所入所児童を募集します

平成28年4月から子どもの保育サービスを希望する方は次のとおり申し込んでください。

入所基準

家庭外労働、家庭内労働等の理由で同居の親族、その他の人が保育できないと認められる児童。

必要書類

入所申込書、父母の就労証明書など。

必要書類は、保健福祉課で配布します。 ※新規入所者のみ

しめきり

平成28年2月12日（金）までに保健福祉課へお申し込みください。

事業所情報

設置主体	区分	定員	受入年齢	保育時間	備考
昭和村	昭和村保育所	45名	1歳から 就学前まで	◆平日 8:00～16:00 (希望により延長保育を実施しています) ◆土曜 8:00～12:00 (就労等の理由で希望する場合)	26名 (12月現在)
	家庭保育室 (保育ママ宅) ※1	1名	6ヶ月から 3歳まで	◆平日 8:00～16:00 (希望により延長保育を実施予定です) ◆土曜 保育が必要な方は保護者と 保育ママの相談により決めます	新規事業

※1 家庭的保育事業については、今後詳細をお知らせいたします。

保育料

前年度の住民税の課税状況により決定いたします。

2人以上同時入所している場合は、第2子の保育料は半減

3人以上同時に入所している場合は、第3子以降の保育料は無料

また、多子世帯保育料軽減事業費補助金制度を実施しています。

(18歳未満の子を3人以上養育し、かつ第3子以降のお子さんが3未満児で保育所に入所している場合、保育料を支払っている保護者に対し、補助金を交付します。詳細は保健福祉課まで)

注意事項

◆定員を超える申込みがある場合は家族状況や就労状況等を審査し、選考することがありますのでご了承ください。

◆期間を過ぎた場合でも随時入所申込みを受け付けておりますので、途中入所等の希望がある場合はご相談ください。

【お問い合わせ】 保育所 ☎ 57-2207 保健福祉課 ☎ 57-2645

東京電力からのお知らせ

原子力損害にかかる法人および個人事業主さまの 損害賠償に関する「個別相談会」開催のご案内

弊社の福島第一および福島第二原子力発電所の事故により大変なご迷惑とご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。

本件事故により、昭和村で観光業、商工業、サービス業、農林業等を営む法人および個人事業者さまが被りました風評被害等による損害賠償の仕組みや具体的な請求手続きについて、ご相談いただける「個別相談会」を開催致しますので、ご案内申し上げます。

賠償請求に関するご疑問、お問い合わせ等を個別にお受けする場でございます。ぜひこの機会をご利用いただきたいと存じます。

【お問い合わせ】 東京電力株式会社 福島補償相談室 ☎ 0120-926-404 受付時間：9時～21時

日程	場所	受付時間
2月4日(木)	昭和村商工会 2階	11時～15時 時間予約制
3月3日(木)		

○予約専用電話番号：0242-24-0710

(会津若松補償センター)

○予約受付時間：9時～16時

(土日祝祭日を除く開催日の前日16時まで)

※上記予定日でも事前予約がない場合は、相談窓口を開設致しませんので、ご注意ください。

※上記日程以降については、改めてご案内させていただきます。

第十回特別弔慰金のご案内

特別弔慰金の趣旨

戦後70周年にあたり、今日のわが国の平和と繁栄の礎となった戦没者などの尊い犠牲に思いをいたし、国としてあらためて弔意を表すため、ご遺族に特別弔慰金（記名国債）を支給します。

第十回特別弔慰金については、償還金を年4万円から5万円に増額するとともに、5年ごとに国債を交付します。

●支給対象者

一、平成27年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方

二、戦没者等の子

三、戦没者等の①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹
四、一から三以外の戦没者等の三親等以内の親族（甥、姪等）

※戦没者等の死亡当時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

●請求受付期間

平成30年4月2日まで

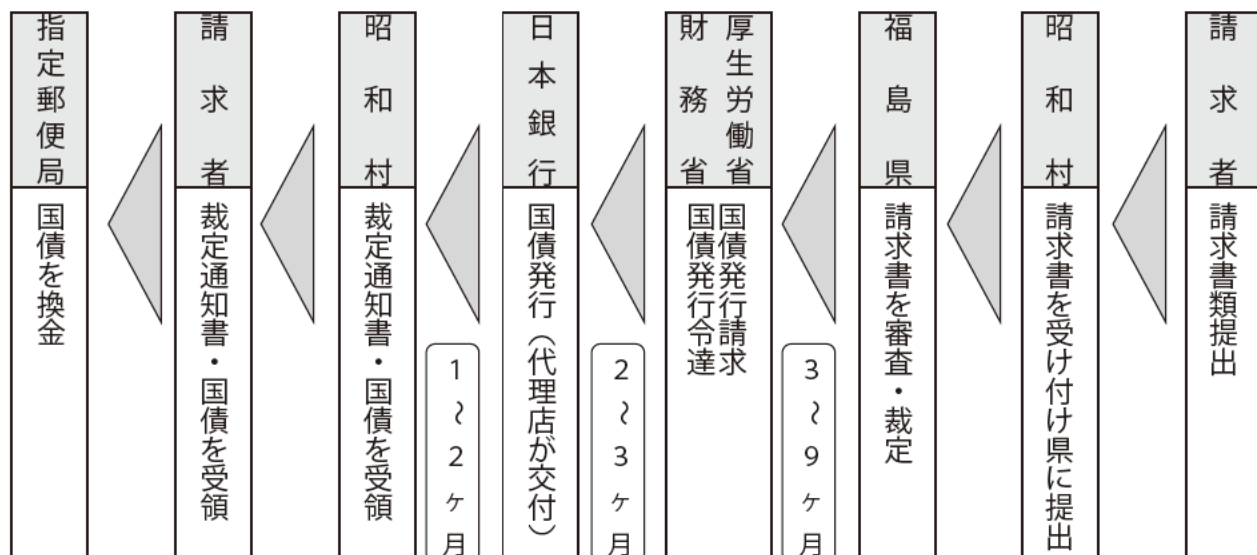
※請求受付期間を過ぎると第十回特別弔慰金を受け取ることはできません。

●請求受付場所

昭和村役場 保健福祉課（すみれ荘）

※請求書類は役場保健福祉課に備え付けています。

請求後の流れ



第十回特別弔慰金に関するQ&A

Q 弔慰金は墓守料ではないのですか？

A 特別弔慰金は終戦20周年、30周年などの節目に国が改めて弔意の意を表すために支給しているもので、墓守料や祭祀料として支給しているものではありません。

Q 該当者に請求勸奨の案内はないのですか？

A 前回弔慰金を昭和村で請求され引き続き昭和村で住民登録をされている方に対し、手続き案内の通知書を郵送しています。また、国や県では全国紙及び地方紙で、村でも広報しようわや遺族会を通して周知を行っています。

もし、ご自身が弔慰金の該当ではない場合でも、先順位の権利者と思われる方にこの制度をお知らせいただき、請求を勧めてくださいるようお願いいたします。

※前回弔慰金を昭和村以外の市区町村で請求された方、前回弔慰金を昭和村で請求したが、現在他市区町村で住民登録されている方、前回弔慰金請求者がお亡くなりになられている場合には通知書を送付いたしません。

問い合わせ先

昭和村役場 保健福祉課（57）2645

車の登録（移転・変更・まっ消）はお済みですか？

- 自動車・軽自動車税は毎年4月1日現在で運輸支局に登録されている名義上の所有者（割賦購入の場合は使用者）に課税されます。
- 毎年、「持っていない車の納税通知書が来た」、「納税通知書が来ない」等の問い合わせやトラブルが数多く発生しています。
- 納税通知書が間違いなく届くように、次のような場合は3月31日までに手続きを済ませましょう。①住所が変わった ②自動車を人に譲った ③廃車した など
自動車の場合→福島運輸支局へ 軽自動車の場合→軽自動車検査協会福島事務所へ

【お問い合わせ】

* 自動車税について……会津地方振興局県税部 課税第二課 ☎ 0242-29-5261

* 軽自動車税について…昭和村役場総務課住民係 ☎ 57-2113

～県立宮下病院看護師募集のお知らせ～

へき地医療の拠点として地域の皆様に必要な医療を提供している「県立宮下病院」では平成28年4月1日付け採用の看護師を募集しています。

公務員として、公共の医療施設で働きたい、患者一人ひとりと向き合った看護がしたい方にぴったりの職場です。

試験日程等は次のとおりです。

- ・ 受験資格：昭和51年4月2日以降生まれで、看護師免許を有するか取得見込みの方
- ・ 試験月日：平成28年1月23日（土）
- ・ 応募締切：平成28年1月18日（月）※応募書類必着
- ・ 募集人員 若干名
- ・ 試験会場：アピオスペース（会津若松市）
- ・ 合格発表：平成28年 2月 8日（月）

※試験の受験案内はお電話いただければ郵送いたします。

【お問い合わせ】

福島県病院局 病院経営課 ☎ 024-521-7226（直通）

福島県立宮下病院 ☎ 0241-52-2321（代表）

宮下病院だより

新年のごあいさつ

福島県立宮下病院
院長 浅野 宏

新年の初めにあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年中は宮下病院等後援会をはじめ、地域の皆様より賜りました御厚情と御支援に対しまして、職員一同より御礼申し上げます。

昨年は3月末をもって黒沢院長が退職されましたが、4月からは内科医1名と、院長として外科の医師が補充され、常勤医が5名の体制となり、診療所への応援や介護施設での診察は前年と同様に実施することができ、外科外来

も再開されました。また、会津医療センターや県立矢吹病院から診療応援をいただき、整形外科、耳鼻いんこう科、皮膚科、心身医療・もの忘れ外来、循環器内科等の診療も引き続き行っております。

さて、以前より計画しておりました耐震改修工事を昨年11月より開始しております。3月末に完成の予定で、診療はその間も続けていきますが、何かと御不便、御迷惑をおかけすることをご容赦下さいますようお願いいたします。

宮下病院は「心ある医療」の理念のもと、皆様のご要望に応えられるよう努めてまいりますので、どうぞ今年もよろしく願いいたします。

今年が、皆様にとってよい1年になりますように。

昭和村では 11 月中、刑法犯の発生はありませんでした。

飲酒がらみの事件事故防止！！

◆飲酒運転の根絶

飲酒運転は、重大な交通事故を起こす危険性があります。
お互いに声を掛け合い、みんなで飲酒運転をなくしましょう。

- ・「少しだから大丈夫」では通用しません。少量の飲酒でも注意力が低下し、重大事故の原因となります。
- ・二日酔いでの運転も飲酒運転になりますので、絶対にしてはいけません。寝たから大丈夫というわけではありません。
- ・飲酒する場合は、車両を持ち込まないようにしましょう。

◆飲酒がらみの事件事故の防止

飲酒する機会が増える時期です。「お酒を飲まないといい人なのに」なんて話を聞いたことはありませんか。飲酒がらみの事件にあわないよう気を付けましょう。

- ・適量をはあくして、飲み過ぎに注意しましょう。
- ・飲み過ぎの人がいたら、家まで送り届けましょう。

◆家族の話し合いで なりすまし詐欺を防止しよう！

- ・年末年始など家族が集まった機会に「合い言葉」を決めておく。
- ・留守番電話機能を活用し、電話の相手を確認してから電話に出る。
- ・なりすまし詐欺電話撃退装置の貸出事業について、ご希望の方は警察署にご相談ください。

昭和村内街頭犯罪等発生状況
(平成 27 年 11 月末現在)

区分	管内	昭和村
強盗		
空き巣ねらい	1	
忍び込み	2	
事務所荒らし		
出店荒らし	2	
自動車盗み		
オートバイ盗		
自転車盗	8	
自販機ねらい		
車上ねらい	7	
ひったくり		
部品ねらい	2	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	22	0
その他刑法犯等	79	1
全 刑 法 犯	101	1

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。
※上記発生件数は、平成 27 年 1 月 1 日からの累計数になっています。

住宅用火災警報器の確認をしましょう！

◎正常に警報音はなりますか？



- ・警報器はホコリで感知しづらくなりますので布等で乾拭きをお願いします
- ・警報器は主に電池で作動するため、テストをして鳴らなければ電池の交換をお願いします。

◎設置場所は正しいですか？

- ・すべての寝室及び 2 階に寝室がある場合には階段にも必要です。
台所だけや居間だけの場合は正しく設置してください。

新しい年の初めにぜひご確認ください！！

火事・救急は 119 番

会津坂下消防署 昭和出張所

☎ 57-2119 <http://www.119-aidu.jp/>

＋ 1月の休日当番医 ＋

- 1日(金) 高田厚生病院
☎ 0242-54-2211 (会津美里町)
- 2日(土) 坂下厚生総合病院
☎ 0242-83-3511 (会津坂下町)
- 3日(日) 県立宮下病院
☎ 0241-52-2321 (三島町)
- 10日(日) 荒井医院
☎ 0242-83-2224 (会津坂下町)
- 11日(月) 遠山眼科医院
☎ 0242-83-2011 (会津坂下町)
- 17日(月) もこめま内科消化器科医院
☎ 0242-56-5622 (会津美里町)
- 24日(日) 白井内科クリニック
☎ 0242-55-0122 (会津美里町)
- 31日(日) 柳津町国保診療所
☎ 0241-42-2334 (柳津町)

今月の休日当番医を掲載します。
通院の参考にして下さい。

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

平成27年11月1日～11月30日受付

- お誕生おめでとうございます
今月の届け出はありません
- ご結婚おめでとうございます
今月の届け出はありません
- おくやみ申し上げます
齋藤正作さん 98歳 小中津川

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は、
届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

平成27年12月1日現在

人口	1,353人	(－5)	出生	0人
男	649人	(－3)	死亡	1人
女	704人	(－2)	転入	0人
世帯数	664戸	(－3)	転出	4人

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

★ 1月の行事等のご案内

○ つみきクラブ

毎週水曜日 9:00～11:45 すみれ荘

○ つみきクラブだんごさし

1月8日(金) 10:00～ 保育所

○ 膝腰元気教室

1月21日(木) 13:30～ すみれ荘

★ 感染症情報 (2015年12月現在) 会津地区

○ 会津で伝染性紅斑の流行が見られます。

○ インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎の小流行が見られます。

○ インフルエンザについて

冬期はインフルエンザの流行時期に入ります。インフルエンザは、基礎疾患のある方や高齢者、乳幼児では合併症を併発する恐れがあります。帰宅した際には手洗いを励行し、咳がでる場合にはマスクを着用するなど咳エチケットに努めましょう。

○ R Sウイルス感染症について

R Sウイルス感染症が流行しています。R Sウイルスに感染し重症化すると、気管支炎・肺炎などの原因となる場合があります。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。年長者の再感染ではR Sウイルスと気づかれない軽症例も多数存在することから、家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行にご注意ください。

◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

◎ 村県民税 (4期)

◎ 後期高齢者医療保険料 (6期)

◎ 上下水道使用料

〔納期限：平成28年2月1日〕

昭和村内 環境放射能測定結果一覧

役場が独自に測定を行っている、村内各所の環境放射能についてお知らせいたします。

観測場所	月日	11/25	12/2	12/9	12/16	観測場所	月日	11/25	12/2	12/9	12/16
松山公民館前		0.08	0.08	0.07	0.07	佐倉観音寺前		0.07	0.07	0.08	0.07
野尻コミセン前		0.07	0.07	0.07	0.08	喰丸区長事務所前		0.07	0.08	0.08	0.08
中向集会所前		0.07	0.07	0.07	0.07	両原郷土芸能 伝承館前		0.07	0.08	0.07	0.08
中向下平運動広場 グラウンド		0.07	冬期中止			小野川生活改善 センター前		0.07	0.08	0.08	0.08
下中津川区長 事務所駐車場		0.07	0.07	0.07	0.07	大岐管理センター 駐車場		0.06	0.09	0.08	0.08
下中津川 学校プール		0.07	0.05	0.07	0.07	小野川水芭蕉と しらかばの杜		0.06	冬期中止		
下中津川 村営住宅砂場		0.08	冬期中止			大芦区長事務所 駐車場		0.06	0.09	0.07	0.08
小中津川区長 事務所前		0.07	0.07	0.07	0.07	矢ノ原 ポンプ小屋付近		0.07	冬期中止		
からむし織の里 中庭		0.08	0.09	0.08	0.08	役場駐車場		0.05	0.05	0.05	0.05
						観測日毎の平均		0.06	0.07	0.07	0.07
						観測日毎の最大値		0.08	0.09	0.0	0.08

(単位：マイクロシーベルト／時間 測定：地上高1m)

参考として東京都(新宿区) 宮城県(仙台市) 大阪府(大阪市) 栃木県(那須塩原市)の放射線量を掲載いたします。単位は村内同様。

東京都新宿区 0.03 宮城県仙台市 0.04 大阪府大阪市 0.04 那須塩原市 0.11

※ 12月18日現在

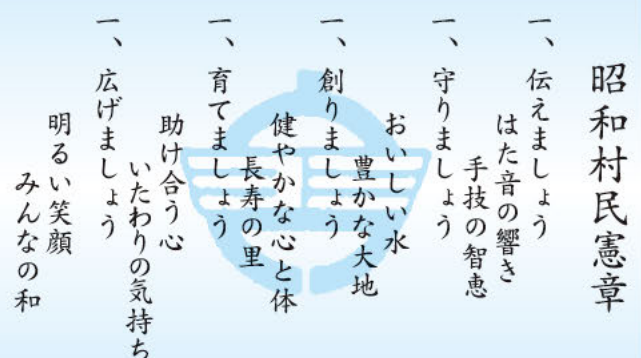
昭和村内 水道水などのモニタリング調査結果

これまでの調査では、不検出(1ベクレル未満)でしたので、お知らせいたします。

新年あけましておめでとうございます。

表紙は恒例のしめ飾り教室での写真です。皆さん講師の方に手取り足取り教えていただき、力作を完成させていました。完成後は各々作成したしめ飾りを手に記念撮影を行い、家に飾るのを楽しみにしているようでした。

去年は世界的に暗いニュースも多々ありましたが、本年は明るいニュースが絶えない世の中になることを願っております。昭和村の中でも明るい話題を探して広報マン大堀が昨年以上に村内を駆け巡りたいと思いますので本年もどうぞよろしく願いいたします。(お)



皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せください。

役場総務課企画係 ☎ 0241-57-2116
showa-k3@vill.showa.fukushima.jp

旧喰丸小学校校舎の利活用のアイデアをお寄せ下さい

映画「ハーメルン」の舞台にもなった旧喰丸小学校校舎につきまして、昨年12月に開催された村議会において、住民の安全・安心の確保を第一に、利活用を通じて村の振興、活性化を図る方針を表明いたしました。

今後、皆様から具体的な利活用方法について御意見をいただきながら、改修計画を検討して参りますので、「こんなことをやってみたい」「こんな使い方がしたい」といった御意見がありましたら、ぜひお寄せ下さい。

【問い合わせ先】 昭和村役場 総務課総務係

☎ 0241-57-2111 FAX: 0241-57-3044 電子メール: soumu@vill.showa.fukushima.jp

【検討経緯】

本校舎につきましては、老朽化のため映画「ハーメルン」撮影終了後に取り壊す方針としておりましたが、保存・活用の声を重く受け止め、改めて村民の皆さんの意見を伺った上で、対応を判断することとしておりました。

このため、昨年2月に、高校生以上を対象とした村民アンケートを実施したところ、取り壊しの意向が48%、保存・活用の意向が42%と意見が分かれる結果でした（回答数329通）。取り壊しの理由としては、老朽施設で危険なため、また、修繕及び維持管理の金銭面、労力面での負担が重いことなどがありました。保存・活用の理由としては、多くの集客が期待できる観光資源として村の活性化に役立つことなどがありました。

また、8月に、校舎が建つ喰丸地区の方、喰丸小学校卒業生、村外出身者、商工・観光・教育関係機関の方などをメンバーとする「旧喰丸小学校校舎在り方懇談会」を設置し、3回の会議を通じ、様々な立場からの御意見をいただきました。会議では、一過性に終わらない利活用方法がなければ維持は難しいこと、また、改修費用が村への過度な負担にならないよう補助金等の活用を検討すべきことが概ね共通した意見でした。

一方で、校舎を活用したイベントが定着してきており、本年も7月にからむし織の里フェア「喰丸小学校芸術祭」、11月には第4回を数える「イチョウ祭り」が盛大に開催されたほか、村内若者有志による「喰丸テラスナイト」が催されるなど、校舎を活用した地域おこしの気運が盛り上がりを見せております。

さらに、現在、国を挙げて地方への人の流れを作る地方創生の取り組みが進められており、村の振興計画基本計画（後期計画）においても、定住人口を増やす施策を積極的に行うこととしております。

このような村民の方々の様々な御意見や取り組み、また、社会情勢を踏まえ、旧喰丸小学校校舎につきましては、解決すべき課題が多々ありますが、住民の安全・安心の確保を第一に、利活用を通じて村の振興、活性化に繋げる方針とし、今後、具体的な利活用方法及び財源確保策等の検討を進めることといたしました。

旧喰丸小学校に係る経緯

昭和12年		建築
昭和55年	3月	小学校統合により廃校
平成4年		「喰丸文化再学習センター」として利用（～平成18年）
平成21年	10月	映画「ハーメルン」撮影開始（～平成24年5月）
平成23年	3月	映画撮影終了後に取り壊すこととし、平成23年度当初予算に解体経費を計上（※映画撮影の遅れから補正により減額）
平成24年	11月	旧喰丸小学校校庭で「イチョウまつり」開催（以降、毎年11月に開催）
平成25年	9月	映画「ハーメルン」公開
平成26年	6月	村議会にて、「ハーメルン」公開後、保留となっている校舎取り壊しについて、「今しばらく映画の効果を見極めたい」と答弁。
	9月・11月	村民有志より、校舎の保存と活用を求める署名（計2,384人分）提出
	12月	村議会にて、「原点に帰り、村民の意見をよく聴いた上で、村として対応を改めて熟慮し判断する」と表明。
平成27年	2月	旧喰丸小学校の在り方について村民アンケートを実施（全戸配付）
	2月	「村長との対話の日」において、旧喰丸小学校の在り方をテーマに意見交換（2組）
	6月	村民アンケート結果を公表（全戸配付）
	8月	「旧喰丸小学校校舎在り方懇談会」開催（～11月 計3回開催）
	12月	村議会にて「住民の安全・安心の確保を第一に、利活用を通じて村の振興、活性化につなげる」と表明。



広報

し
よ
う
わ

2016

1

No.560

発行 日：平成28年1月1日
編集 行：福島県昭和村
企画 行：昭和村役場総務課

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字中津川字中島652
TEL: 0241-57-2116 / FAX: 0241-57-3044
WEB: http://www.vill.showa.fukushima.jp/